| 内院共本會議を休み

分科會を開

樞府本會議

に削立に決定したが總督府で一

起し、報道変別長期合権氏よ ・ 就した。 ・ 報道変別長期合権氏よ ・ 就した。 ・ 就過程でを対している。 ・ 記憶を対している。 ・ になったが、認慣所では十一日

はこれにさきだつて新設蟹似の前 | に於いて第一回の委員館を崩くこ

安員長及委員を任命

伊の態度

聯盟脱退の前觸れか

ーマに離還することになった資・ソリリー。直相の命に依り急遽。悪段に弱し、イタリー代表部は

リー代表は十二日年後、一、イタリー改称と簡単事句の ・ 右通問通りアロイギーの態度につき破骸な局は十二日非 會 ・ 右通問通りアロイギーの態度につき破骸な局は十二日非 會 ・ 公式に次の加く宮頂した ・ の態度につき破骸な局は十二日非 會

【東京電話】 南洋観察中であつた。と厳重なる通告があつたので、論

大角大将歸る

撤長外各職間官、村上時記官

原案を承認すべきものなり 委員會として領重被説の末

命維術莊师會補明立期關委員會委 員長

態政一事を標派し、武武隆権に随「続め、襲に馬追戦相難に等内離胡」の如く等内匿相、馬追張均が襲価(東京電話一張田内附は追溯以来「積極的減減症跡の必要なる所以を「る師手たる資金を表現した、斯く

谷相から質問に答ふ

唯下の総跡を仰ぎ、十三日斤(東京市話) 概密院は 天皇 即十時より宮中泉僧間に定例

結果に顕し

り委員曹の都意經過順にその

さへ楽融歌を通過すれば磐垣艦龍の重製法殿を初めその他の戯雁跡を発命部の霰融が終了するかどうかは危いまれてゐるが、併し襲舞霰

鮮滿拓殖會社

創立準備委員會

は手持無沙汰の状態である、この間に本談館の飯期は早くも中ばを **売し既に後半に入ることになつたので、果して二十四日までに設**

運動の手が伸べられてあるので無罪連過は対果なく、戯問から等に、底に宇用總督を訪問、駆き打合をつて来た論で刑事は釈迦综合避暑く放出であり、後衛には定権線の「関層原北知事は十三日年則十時本の、微って避聴は不敬文践等取締法案、退職祖立を法案の二つに果 (子)日(郷)収目(計)円間、 韓々「兩日庭で費まされるのではないいと戦局も使めて業勝してあ

行ったが五く削立の駐職治艇に開

額ひたい、昔し秘密の酸等が出 製に定様なことなきやう創注意 常に送惑を終するので今後は絶 接近秘密管の内容が展洩して事」

日午後五時及川佐・出郷の部である。少將も上、山朝上・「丁丁

する人事異動について輝されてあ

るるので前途には何季旅艇はない旅標で、高男を長をするにしても 岡川崎原度北北川 事子して理測能とはいへないまでも、廣田自由のいふ総戦を十分徐つて「韓原に歴史する」のの委よう、一方距接続も今日までの整道からすればその名派は歌桐に豊一命され、十三日人境、第一回の委派の一方距接続も今日までの整道からすればその名派は歌桐に豊一命され、十三日人境、第一回の委権が延進を向けることになららから実施院の帰は見えてみると言べ「鈴木二等主部正は季遊能臺形に低級事が進

間かれるのみで医算案、法律案が集静院から密附されるまで

十三日は決算委員館の分

は各職重要法党も全部自然保証院に関付けと云ふ碑である、保護党は設こそ名、明かれてゐるが十六日の複算数本職際上記まで登録館は放こそ名、明かれてゐるが十六日の複算数本職際上記までは難く見数り誤應の含め、総脈

- 70は関数の形で、実施に指摘委員難に関配されてある重要在祭正。 数を除いては民政院、政友領域に実際の思義員りと記載して改順の、九年藩市職よ平軍協は、年末市高十二三日の田衆追院は本館練を好る象別祭職を連過。 数本職々之に酷いて釈献院のの康院に総附され、「三の宗義法・命委員會委員・合通

退職積立金法案の二つ

政府は極めて樂觀す

問題に不穩文書取締法案と

會の峠は見えた

【マドリッド十日電通】スペイン

スペイン大統領

ユエル・アザナ氏は絶投除八百

もハードカラーをし

そこで十二日の登算器館」ちめんの煙りであつたが、そこ

ルタ島**攻防聯合演習**

十二日午後大時昏眠状態に陥り遂東の自宅において殿養中だつたが

胡恵民氏は十日來高郎際のため版

東十二日同盟」西南派の領袖

西南派を築みて反脈亜動をつとけ「十二日早朝、同語を中心に華々し」に顕蒙を終了するまでは難時編成を鍛せられ、腹果にあつて「と纏めたマルタ監政防熱合版書は」ニチェビア選進軍の大部分が本題「石具と変は書子」

| 直下能悪化の形勢が際へられてる

力を顕示すると共に、イタリー政地中海におけるイギリス海軍の威

『國民黨の『羽鳥と言はねたが、『重り夜を徹して行はれ、十四日末』のまゝの登場を維持する窓間と見、「勝介石、汪獨倫爾氏ととも「く穴蓋を切った、滅器は「寒安に」に顕表を終了するまでは難時編成。

他石山と反動の立場にあったた。明に及ぶ雲であるが、この駿合海 | られる

秘密會の内容漏洩で

次官議長二殿重通生

路めない 野藤新行の必要を一知ったらう 人態が集がくれに登つてゐる。

迫られてゐる質慶大衆を考慮に自治管理法は最も致濟の必要に一月治管理法は最も致濟の必要に一月以上のみに思過を與へ致農は余人 新院年景は、樹の下へ転け寄っ

京社は沙学ではし 権権。「東京統領等・三十十里」、及用の令長院は十五日上派に向けて東京統領との政策を正成が建めて、政権の関係を指する。「東京統領、政権の関係を対し、大学の政策を対し、大学の政策を対し、 島田農相 その通りである 上げ策と見られるが、こ級制法自希管理法は

伊佛英日

脳の利益を進めることを考慮に人

置保を附し事實上同決議をボイ 中十三日午後三時半海湖、伊エ紛爭討議に劉し『最大限の ◆今升清中將(兵器本蔵附)人時一、イタリー政府は聯盟理事會の *************************

全完虫鞭

猫

酸ローマに儲つた、なほイタリー

0

天地主

謎ではあるが、突くなと、殺す

無論なしなといふ形胸では

はず、文といはず郷壁を敗めよ一のは、――たとがらノーと炎のす

出法化業委は館を開き法案報酬に なってみる問題の不認文股等取締 と相談「郎氏(氏数)の質問あつ出法化業委は館を開き法案報酬に なってみる問題の不認文股等取締 と相談「郎氏(氏数)の質問あつは十の日から介質及外の討論に入るべ は文字通り法案の海水を提出して「五分料館(簡式・関校省資)は十の日から介質及外の討論に入るべ

松田高三郎氏(民政)の質問あつ三日午前九時三十分開警 ○田尻生五氏(政友)政府は財源

得る限りの内容を左の如く朋かに

【東京電話】深証院實質委員會用

而三州法系、産 職區川銀和法案、 窓、國系幕駒総秘託保護法案等の北刀を原治することとなり米畝目 法案、退職郡立全及び退職手営法

のまから全省を終り対策としなど、紫龍蛇に適助されたので、紫龍蛇の貨が帯門の質減を飛行したので、紫龍蛇に提出したる七年は可狭されて繋が帯関の質減を飛行したので、紫龍蛇は出したる七年は可狭されて

かくて政府提出の法律案は増計四

衆議院豫算

熱心なる質疑應答

に考慮を要する。
於る所得税に関しては資金の勤 【東京電話】衆権完選等金銭幣第一級あつて午後等時二十五分散節

現在答辯し得る限りの内容を

馬塲臧相が明かにす

足すべきものであらら に上とはないと思ふが、日徽の登 に登録した無望で 年別九時五十分開館、清水留三郎 東内容から、入財除死のことし、氏(民職)の質励に對し馬基虧相 たいと思ふが、日徽の登 に分科館(大郎電財舎)は十三日 にて面工省所咨の組織を終り上

関第 総のつて午後受時二十五分散館 大郎(民政)河野一郎(政友)

「世別、日本町九時五十分崩費、清水留三郎 大文子女員大會 上の化郡高統憲総のがはあること 歴史教養議議主案を観査は十二日 を含く、太いで杉山元帝郎氏(趙・平町九時二十五分散館、委員長、西村丹海郎(民政)の登局に続けるの以を寛しを 変した。 大りは監持建別は第20回を記い (第2に入らす直もに販館した。 アルス (2010年) (2010年

彫角氏の質問に對し首相は収益度「側、頼莊木滅村も電力園霊に願す。総館車、壁在武官などの出迎へす「ではないかとの鑑念が高まつてる」 ギリス政府の善屋を聖異する。総館において木垣正義、飛江貫一」をも敬て質行すべき言を答解せる「は十二日正午年鑑出霊で南京者、「収はイタリーの機器脱退の削機和」 立する断平れる決意を表明、第一日正午年鑑出霊で南京者、「収はイタリーの機器脱退の削機和」 セナを併合、イタリー発度をで

ては再機耐したい 他都最近適常な万法があれば漂亮されてい、歳物全體につい 、化粧品供給に關する件

米穀關係二案委員會

は西東民氏逝去に對し来た公雷は

蔣介石氏の統

(121

劑虫殺力强

有に部品業店貨育・店業概全

新綠

V)

n

路篇

花 治

講作

うかゞう<u>幾</u>多

病魔の囁き

翔々肉薄しつ 病魔の尖鉾は

はな 数据 C 美 O (三) てゐた鬼嫐だつた。それが外れる はな 「やつ?」 と、太力のはらも放いて妻好た。 と、太力のはらも放いた。 と、太力のはらも放いた。 にと またがをうけてゐない大きな瘤の 石、互、水片、字當り次第にひろに ない、 泣き代ぼ、今にみえと去 自分の頭上へ迎つて來るだけだっ へがあつた。 からな 自分の頭上へ迎つて來るだけだっ かって 「おい、 泣き代ぼ、今にみえと去 自分の頭上へ迎つて來るだけだっ かっち れのことばが、今夜は悪ひ た。 郷球太は、どう遂げたのか、も

うその壁にゐなかつた。 ']] \hbar

削虫殺

って進む**小児** 其の堅陣を破

の槌屋奇應丸

中に母の慈愛

1あり其質只

「こよひの火放けは、おのれの仕

樂良児小·



ものだ るし、の時

が、火の中で、てめえの子や窓が、も生意房と取めてある男だと聞い、「さまを見る。――あれを見る、、云つてゐた魔器の滅であったが、てきまを見る。――あれを見る、云つてゐた魔器の滅であったが、「なるだけだつた。 年辰は、部下を呼んだ。 登岐の すると、それを担んで、自分の馬年辰は、部下を呼んだ。 登地の すると、それを担んで、自分の馬をさけんだ。 號の掛物を引きやギッてやらうと僧を抱い奴と思つて、馬上から名 立つてゐるその 自分の通

その生活関が、今、然然とこの 変のなかへ駆けつけて来たのべる は る。年景はいずる~~と酸がゆる~ とでしまつた。 ―― 利那に、彼の頭 を突き殺くやうに走ったのは、 (健康に来たな!))



虫ラブア

コセモノから 有社名と マークにと





虫京南





















害無蓄人







念は出五日から

出版の遊覧等を甘五日から建設す

場局では監刑がむ心とする新羅 | なってあるので | 脈の寒暗寒で襲

国を入れ、使用強進行記念として で表紙には慶州石窟能の石像を 変はし、原面に沿線の投票を で表紙には慶州石窟能の石像を をはし、原面に沿線の投票を をは、原州石窟能の石像を をは、原州石窟能の石像を

一鐵道局の新案切符

数は共十五日間となつてゐる

中央線工事

議刑國籍伯部地方に朝鮮 人機殺事件ありとの風趣に、東京城部事館警察署から七名の警殿と開始時

軍警調査の結果判明

調査の結果、去る四月廿一

日次で前地ワンコウに匪首九チャンが製茶して四

-スの反路の二つで通用期間は建

十九名が惨殺さる

の附近で

慶州廻り遊覽券

日午前九時十分から水脱高等と
「放された代表州四名を集めて十

學技術内を哲学で開館式を整行

野い繁製ぶりを示してみた 践つたが、版本析社館群長の能療 き同十時から直ちに日尾の質割に

「小人半額)コースは起路より大日動車は選州、佛國寺共大人一圏 郷で連鎖は銀道二、三零二割引、 なほぼ質解は京城、龍山、上に 水殿、雅山、大邱モの他全鮮廿

館山森軍航空隊所建海軍機一機は一

除へ闘道した。

沿の舘山飛行機は十二日午後四時

大村へ還る

珍黙に不時一面の数限は豆城町西部衛生語所が

製へ並ぎついたものである、配方 上の変列目的は役争の開発に悪いた。 臭れないので、膨胀神を強へて書 の質胞を制にして感染器度は離る しまる目的にして感染器度は離る がある。

横領逃走 京水平町四下

したものと自由した

西部尚生詰所へ汲取りを願つたが

珍島沖上不時着

邱、東村荒田屋州、佛國寺、釜山

を紙で燃料に配着するのと、同っ

り、帰局長の講話、脳本一改選学が局長の報告の訓

地方中野青年書書館は各道から「藤珠式した、脳して器書館は引飲」、水原にて青崎磐張貝一第九回金「水原品配数銭の接換があつて十郎」

卅四代表が緊張受講

機構は勢ひ釜山方面に集中される 急いでゐるが、第一線の建設技術

とになり、既は平顯、城津南建 | が現場に急行した、詳細不明

|池に総道局では日下省を興備を|

島島上空を飛翔中部動機に故障を

一日午後三時十分至南珍島郡下

削から、

ヶ所の共同便所を代る/\使つて | 京城府では本年の低紙税の集合機

うたが、それも溢れ、

再三京城府

「査を左記日間で顕行することにな

つた、當日は印紙税の説明語を配

頸路二夜間金庫、吉野町浜庫 4廿二日黄金町六高陽縣

鎌型されてある。 京整間中央線の

業徴章(所謂天保錢)が既に七一度に超日と星章プロペラを配した

日的を達成したので、過日之を

一年軍令法第五號で制定され

武治中であり、多分今月中に質服

天保銭と同大同型)をも属すべ

明由八香地一帯の北路民が同島長、湯の不遠常に質漱して勝平粛濱を安所筆以を代表として「我々の郡」議すると憤慨してある。

京城方面の

印紙檢查

は朝京城市化一行短船動があつたとがあり、所當

恩見而語]陸軍では陸軍大學校 | た陸軍飛行機堪線衛門得效量(周

陸軍當局が研究中

ることになる模様である。
設事停所の中から層下移動せしめ

集めて

唉

らずには神宮の理が最も効果あり、化粧下になる。

京城の兄童は機関ある毎に

るが、那部ではからした施設に缺

で、それと、単校調覧

見頭の際優者群に限にり無敗雨ル 職した、これと同時に練遊局に

又心桃花町

汚物溢

少年を翻覧が過べ

関節軸宮、京城神祇に塞興してあ |薬をたて十三日総督所敬育館に題

に 神棚を設けてあるがこれだけで | をさして置ふやう 同選 遊髪が成立

大保錢廢止に次いで

操縦章膨上か飛行機・

心るが、日本の崇高なる機輌を知

・ 不明館師宮に意味せしめるといふ

以兄童に國體制神の徹底帰化をは

るので、この際京歌道内にある小

は精神鼓吹には多少不満な點があ一をみた場合は交がすることにな

國體精神の徹底强化

學生、普通學校の生徒は年一度必

人學 法文學部 教授 騰端都氏は

の漢水魚頭 の地理館 分布につい

半島最高學園の春は朗か

牙畿道内の初等生



爾次郎教授のお勧めでやつたも同教授談 先犇や殊に小林

『文博・理博・法博』と|||博士

滕塚、森、尾高三教授の苦心酬ひられて

輝

んごも同隔と必断、順化院に收

とになってゐる

に交も思香誕生した、胴家に間借た京城城北町二二九季添民さん方 既報、一家三人の願チァスを出し

元年より十年までの被害懇談は實 被害は次の通りである、何ほ昭和

に三郎二千九百三十六萬九千八百

百圓を窃取逃走中と戦つた、極少

は胡城藩月町製品家の息子で、一と戦闘した

城北町のチフス

家四名の患者

調曉を呼ぶ男態が水雨の夜三季

料覽觀

等等等

==-

を下く闊 Ġ

† 混込お

か雅み早

座

名餘十八員總 個品語城京興

朝

游雄清永興

城濱

地

潭五月信子

解析 共演 細君三日 指野 花井お梅三番

五月

++++ 七六五四

四日間

(正午後五時開幕)

其他 綿糸 釣針 カスミ網 其他 綿糸 釣針 カスミ網 京城府水樂町二丁目

平文氏方の錠削を破つて侵入、奥一線から動き

は順化院で原中、灘民さんが四月

-七日死亡し、同町は恐怖におの してゐる李漢民さんの兄妹三人

▲皇害三四、四六一、六七八四

のチフス患者を出したので東大門容された、かくて同じ家から四名 割では防災に務めてある

は正確は軍に我が暗員の品位を低

は最近に至るも終想する世最もな

一層に提案することしなった

東京電話 各配路における密輸 大紫瀬より適當の時機にお

海事共同委員會動く

脚等なので一瀬正任が係員を置 集合場である管内各側編の大洞 出すな。と防災に努めてゐるが ※京城府総と協力して行ひ。 グ今年こそ背内から一名の思書 觀念を鼓舞せしめてゐる は先づ家の路間を消除せ 増加し我が海運界の海外進出を阻 めるにといまらず船主の資盤を

【與京電話】大相撲99場所初日は

躍進日本の数

的り

募 築 中

**

00 8

原 東

年儿

光

川画

06

社 孾 六 者の必携業!

御申込衣第カタログ法皇

道教育會から本府へ建議して

5

Ø

昨年の災害

八判町の泥棒

富豪の息子

異協博の名をもつて内務省制

ある、倘は武៍辞山、高全、能代司

の買手取締を要請する一方、船主 砂省に陳何、内外における岩極品

|突電即ち風水声、星声、異常気の | 對しては智典金をおくる外、本所調査による昭和十年度自然的 | 中は脱絶を厳にして影響態は

| (日本 新新 九松 三大 底设 羽 瀬波 州町 龍 奥 後川 川嶺 山山 山浪 編岩 初日の

無職金昌強(三)は数日削減衛の成京城茶量町八架畠薫館に投稿した

府の怠慢に住民憤慨

を前取、行方を輝ましてゐたが十麟石氏(三)の金四十五個人り財布 日夜本町通で本町智貨に機構

服一者を入質せんとする男を組み 治量が制べると、京城貨鐵町林館 土三日朝京城柴城町岩田質店へ発 萬引して入質

全般天氣豫報

忠南 (東京) 東の風 罍 曇

璺

り [明日] 同じ 型 壘

京城地方 [今晩] 晒れ







蝕む便秘

貌を

+







拜製

ソラダ

柑

內科小兒科

レントゲン科紫外線 電本二八八〇番

JAPAN HET WEIGHT ADD

普年 通銀行業務回日本剛家銀行代理店職定期貸付日日本剛家銀行代理店 京城南大門通二丁目百四十番地ノー

MOMOYA BRAND

自此 朝鮮 殖產 銀行 頭取有賀光豐

海本金参千萬圓 四所六十三ヶ所並に内 全郷谷地に支店派出

御會 葬御禮 榳 (津) 末

槌

屋發賣

にあり)

梨

桃

の不止、記順上の不止等を駆け、断安國河九六柱九街完整「こは市」る。男から京総道樹州部の元にあ、公遂げられ立いものと世をはかなの不止、記順上の不止等を駆け、断安國河九六柱九街完整「こは市」る。男から京総道樹州部の元にあ、公遂げられ立いものと世をはかなの不止、記順上の不正等を駆け、断安國河九六柱九街完整「こは市」る。男から京総道樹州部の元にあ、公遂げられ立いものと世をはかなの不止、記順上の不正等を駆け、所収上の下に書き、「日本」と、「日本」」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」は、「日本」と 「日本」は、「日

子こと平護府岩町一七生れ紫藤電「ら幾仲となり金に窮し主家から百」園にもとめたものである

に避見され附近の曖昧に擔ぎ込一れ入獄中父親と死那・削料益であ

橋の中央部あたりから関仮の海中

醉つ拂ひの風暴・

沿海州方面の漁場

今は全く平穏

今後漁船に危険はあるまい

【拳山】十二日午前等時頃登山大

青年の投身

見られてゐる

機機からして支削人ではないかと

したが死體を包んである衣服の柄

ある殿に疑ひあり<u>犯人</u>搜査に資手 ゆるも瞬の緒を首に二回なつけて

き男子の死體で一見死産の如くみ 司法保で機能の結果、生後間もな P拾ひが優見し大騒ぎとなったが 包んだ赤ん坊の死體を支肌人のボ

(二)と猫いらずを嚥下苦悶中を家 | 風を作取、六ヶ月の懲役に處せら

内北市場所田アパート上衛、京玻 総命、女は生命収止のる優様であ、身を泥めてをり鉤底この世では添発に入来了。 走る十一日午町入時頃市 まれ手書を加へたが男は聞もなく るが故に変距し越へ子女は答発に

脳文によつて山口諸員が辞職す

1議員に酢糖を動告した事實

永井級判長保、松崎標単立館の下 聖熊田阪出屋(の第一回公前は

一日午旬九時から大邱地方法院

は勿論關係方面の間が最も多かつ十分間から超減域で被告等の家族

浮世の夢はかなし

異郷に悲戀心中

懸ゆえに前科者と苦界の女

奉天十間房の悲話

かつた事件だけに傍離席は閉廷三 に開起されたが流石に反響の大き

秀 (龍城) 崔紫平 (畝川) 金體書

柳椒 (陽州) 金減○ (減益) 李相 (周村) の五名に對し任所氏名を

永井松門長は型の如く被告郎

質問の揚げ足とり 公務の執行妨

五名に懲役六月罰金五十圓求刑

無罪の辯論に滿廷興奮

東のというという。 のでないという。 のでないといる。 のでないるいる。 のでないる。 のでないるいる。 のでないるいる。 のでないるい。 のでないるいる。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないる。 のでないる。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないるい。 のでないる。 のでない。 のでない。 のでないる。 のでない。 のでな、 のでない。 のでない。 のでな、 のでない。 のでな、 のでない。 のでない。 のでない。 のでな、 のでない 一時間あまり体和して午後一時半三

を選んだか、猫魔女は四年前天と 困難で、それに空間を願いてゐる 生雕して母の職下に配ったが生活

内国々母親と些細なとから喧嘩を

【新義州】十一日午後二時頃而內 嬰兒の死體 死によつて一切を演算せん 下水溝に捨つ

したのでいよ!」この世にいや伽 - 水溝暗集下にボロに ためとことと、原理してゐるが、 「選者に開出たが永年水中にあつた。

「関のやらなものを観見、繋いて平 長さ八寸、磁部直律約二寸の野剛 社別大同江中より破利を採取中、 荷里一金だ様で、お酢糖里製糖糖

した、夫妻は去る八年の初出品以

母子とも至極健在

めがけて投資した者があるのを通「【平蝎】 桁内器町一三五府水道係「右は性強いり二人間備はる男兒で一間牌に泣き交換肌の際は母親が暦一 しい赤ん坊は泣く時は二つの中で一かく珍しい順形鬼である

能注例に 店主より 百五十回番 が 金しとてもこれでは一生定を洗 外工ないと思びいつそ一思ひにと 数目前猫いらすを求め折をみて 数目のであると演のらちに誤 つてゐた

.大邱】殷州亦色居民組合事件の 通り 南里朝鮮日報支局長李七定(5%)

亦農に判決

求刑よりも

輕く言渡し

の釣銭を渡し百風札を受け取らず 制に立去り加限になって百個札の

女が総質ひに來たので問答してみ 行方を探すところに交も例の黒人 然名に属出た、雅事も言葉が通じ ルが朝鮮語の通ずる調なく

流に整

一次の底をすまして釜山へ上陸、総数の底をすまして釜山へ上陸、総 が大阪から朝鮮の北端新設州へま 道僧組へ体配したまではよかつた で配送した手廻り品のチェッキ

では臭いと配んでゐるやうである ないので全く手を焼いてゐるが割 鮮内でご難

に散々のご舌心 と特別の機器を振るつて善後前別 てコレは不可んなんとかならぬべたが難に姫路とあるので 見、確いた御大 がこれは意外、歯もあらうに頻路 ◇……チェッキの夏裘を仔細に調 い荷子へ深々と腰をかけてから避られなってゐるのを鑑道顧館の柔か …それは真に辞典大言海にも

|府内老松町河陽底館に入つたが同 ものゝ上陸際止の厄に遭び避行・一家せて確れの門司まで辿りついた はれ其後者に相應しい豪華な噂を 出したので店賃は九十九回四十銭 一個六十銭のものを買ひ百圓礼を ケ枝町二一二光頭子店に來て手鏡 日午後六時頃一行中の黒人女が極 十二日朝七時十四分新養州に頭音 したので去る十二日一性書類と共 そのまゝ他の客に鵬族してゐる 腹を肥やした定州呂城外海校中 の温雄して同な屋居住の鮮な一名から金一萬八千餘関を停上げ仏「境」、周九時建蔵代したが離纏のたるがら金一萬八千餘関を停上げ仏「境」、周九時建蔵代したが離纏のたる就き組合を組織し 組合数 「上上 原一人ところを約四十五年の小畑を全 定州】既報―未報地明折の有利 大小部から出火、パラアク建の 組合員を購し 一萬圓を捲上ぐ 未墾地を種に私腹肥やす 定州の大詐欺事件 した際見送りのため乗り込んであ 【釜山】十二早即九時二十 汽車の老人

親に有名であり、容潔に有名であり、容潔に有名であり、容潔に有名であり、容 その此を見ない。人 の強いことでは天下 多田楽吉さんと言へ を一つ ||斯義州の に相應しいトピック

蠅·蚤·蚊 害虫強 南京虫 醋殺虫液 専憲特許 日英米猫

來本年まで天始揃つて連續四度も「大統元裡に十一時式を終つた。 では、「サラに支き了当ぐる社品以」を得て十二日午前十時から暴 き出したのに狼狽して飛路り頭部 た府内佐川町科芸(*c)は浮車が動 に製御を買い人事不省、鑑道房院 釜山紙端構内で晋州行列車が軽山 展示三部工器に出品せる「耐かな 北堤川小學校長の北島與氏 平鐵角力部 上俵開きに 飛降りて重傷 北島氏も入選 **◇……【釜山】初夏** 大龍蹦出場 の持火メキ 残花、老鶯 容閣の一 蚊の走りを落す

殿山口殿!

題した肝調産組事他(公務親行所、みたことに端を譲し大波紋を覆き 問題をひつさげで所然な質問を試

魔の貯水池に 若妻の投身 不遇を悲観して

危ふく敷助さる

才天の憲洋

【平壩】 廉か十字 特敦師を意覧せしめてゐる外ピア は金少年)

ノも得点といる神童である(島蔵)

夫妻で四度入選

清州第一公普校の

牧野先生等大喜び

画明治生所在場外総水利組合腔水 地路上を通行中の西坂里七八枚元 ユース ニーキ南平原脳の川面腕川 医力日午後八時頃、清州部四州 後七時戦場か適に蘇騰つて露町市 てあつばれ恵丈の家を吐いた快ニとの月日を入り時頃、清州部門 清水町居住中海幌 (二)は「肥田清」(二)「使呂―は十一日午」 記詳論に見事入園の築をかも夢 初夏を迎へて郡春の彼女が何故死一ま、釈濯入り 避見され位く数はれた、新辞融るであた鶏町百個をたたき膨しその池で投身自戒を食てたが通行人に「観」でした鶏町百個をたたき膨しその 個で心に続行を働き自職事に積ん|

公立普通學校四年生金清代君(10)

は同地東京陸党長の類の氏(き)が

キヌ子夫人との間に生れた内部線| て名孟・湯州第一世通學技術等級| 一幅と明文集]を出聞、これも人職祭| 東京遊学中籍領した茶木縣土政の | 『清州』以北敦道に光る鶥字とし| 鑑、開氏)夫人と サ子さんも 耐熱

【平學】十一日午後一時時間內體 拾ひ物 河底から砲弾 からはじめ特異のタッチを持ち受。西洋語に力作『早春賦』が見事人 利の蟹の結晶であるが洋圏は昨年「野精一氏は今年の鮮暖にも第一部」

一動脈な特物だけに同署では誰もに

や雌多頭児

體は一つでも道具は二人前

(『た)は去る六日雙頭見を出産した 【響陽】山内面が田里金都伊さん | 世子共極めて健全である、この珍 | 方の口に交代に飲ませてゐる、

がいづれる機事求刑より軽く左の

永英(ご)

判決国後しは十二日午後一時大郎 地方法院江殿裁判長保で行けれた

高船日洋丸はアメリカmがスロッ 世路のため航海中の永嘉試験場際

であるが漁田がアメリカ顔から三 といふことで出漁船は地班十五菱 清津一沿海州の部船漁業発縮と一

海であつた | 世界 | 火レ器も棟割きの短短蓋支那人腹 | 地丸系描単件以来初めて平離な | 火レ器も棟割きの短短蓋支那人腹

東方に延焼、隣接家屋も一間めに

せんとしたが常備、義勇爾消防院

自洋丸船長の報告

- 二十三歳間的近の通過を一瞬して

一日朝師派した、同船長の報告

(歌) 134.7を現ち歌誌H2004 て助立下回にであるが開かって記事も歌歌 して聞三時四十分観光した、懺露十浬ののアスコロ島とウスリー圏 して聞三時四十分観光した、懺露くの音に強いてあるが徳田がアメリカ勝から三 兄の消光派を楽し一種二戸を網長

「戦神に遠く今後神び間断は起るま」を元版方には三千間歌方には六千

のみで驚暗船は影もなく第三条間航中一隻の潜水艦を見受けた

理事の親切

組合員に仇

懇談會の雨が祟り

清州郡金組に軋轢

足が洗へず

ネコを呑む 雇女の涙物語

> 新線を彩る 三百の健兒

大邱青訓戰鬪教練 排嶢の市街戰展開

游洲官用車

であるが追し線引込線から仏殿のドついては目下元山沼で取削べ中 面の火災保険が耐してある、 殿因

で攻略 | 省公署の所用で平北明州から東州 運輸手備人林旭東(ご)は十日安東 【新藝州】臨江縣第五號トラック 自動車火事

臭い黑人商 し府の保全に多むべきに決す 総中・鯉つて引火運転鑑を焼き運り削で脳家の標題を借りガソリン樹 |初三百メートルの飲食店季笑光方に向ふ途中、精城駐在所より東方

府領有を企圖せる兵力未詳の|

百圓札で詐欺? 言葉通ぜず取調べに困惑

初夏の昭陽江…(春)川(た)は(り

一般めたところ組合経等は理事の親し自家へ持ち続つて食べるやうにと

が出前側に入って明整間隔、生世 たが、第に眼球単純代となり音々 「豊田恵」 荷門加井里 天飲を店別の組合地に到し証った行話と 陳明子のことになった機能である 会員最方面で会が成っていまします。 「豊田恵子を養にきて 一世川 というない 「東田東本権に応じ、全世にきて 一世川 というない 「東田東本権に応じ、全さた客に

元山の火事

部見され贈念手書をうけ一命はと

一棟二戸焼く

一月十八日に定期認頭を開催した。後間理事に對して不顧を抱いてゐ 「満州」那内野村海金融組合では、とは不都合だと知って激昂しその

氏の唯一の行祭の基所として説まれてゐる明陽度の一句

火傷が育つた、賦代約六百回轉手は顔面右手首に全治一週间の 會寧の火事

ベルシャ、アテネ市アプラハム、「安東で國際毎引動ではないかと疑っ

【會學】十月午後八時半ごろ飛行

一部版した結果と明由

「おいまれ、一部では、「おいまれ、一部では、「おいまれ、一部では、「おいまれ、一部では、「おいまれ、」」

「おいまれ、一部では、「おいまれ、」

「おいまれ、一部では、「おいまれ、」

「おいまれ、一部では、「おいまれ、」

「おいまれ、」

「いまれ、」

「いまれ、」
「いまれ、」

「いまれ、」

「いまれ、」
「いまれ、」

「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、」
「いまれ、まれ、」
「いま

一歳の坊つちゃん

天晴れ鮮展入

明』の大作は何れも

内鮮融和の愛の結晶で

ピアノもお得意

観した結果と判明

在の結果午前九時頃になつて牧の行人が避見、水上浴のランチで響

消防手謎の逃略

大田護華原に送り憲定を公立こと 皇主軍制門の 【大田] 意 ものです。 思うながら』との手紙にした、日満職華富海伽田したも、城部比安公立曹通皇校五、六年生、を添くて十一日大田藩共和(今市のではないかと見られてゐる 一同は荘福皇軍顧問金として金五【レて來た

効力他の線香の数倍 man-lt Ctot 房藥大住安鰈

・・・ング 監督 オクス作品

十四日から京城朝日座に開演、初

三乃至五パーセントの硝酸最水の

監は、殿のために討死致して御座

有田サーカス

あすの演し物

病、食物の不良等が概因で起るの 製館病、糖院病「アンギナ」自祀・不福生、水薬、鉛、僕等の中海、

近代座|

い見は育ちが悪いよく育ち母乳のある見

せ外のものなら手数が)母の乳ならそのまし

には母の乳ー牛の分には牛一変と云つて母値から乳を通して配

担乳の極査はあてに

連七作人

の母乳でも生後七、八ヶ月になれ乳気にとつて最も完全な際を配

物は何教者せたらいくかあまり原着させねこと、着

趣術態度の場合にように個性

むなり、島屋漁曲に於ては、一家圏へ、

た、交重能な築後病(消化不良能)

(イ)母の乳なら其のま、吸はせ一臂を楽辿りするものでなく、皆で一見は痴氣を起すものであります、

間の開朝をおく必要があります。

くお始めなさ

さい。如何に完全な築養品でも、

業美術

寫眞の場合

(ロ) 極々の方法を語じてもどう 得す人工学品に移らわばなりま ても母乳の出が悪い時には已た んがその時には必ず小見科器門

流》、《星

り、ふとんを被つたりすることは て、彩を閉めきつて火碗をおいた ことです、それに悪いからといつ 美人の要素は配色がよいといふ

すつかり腰る脚の準備が出來たわなり、丈夫にもなります。これで

温ひ、昂雪と、 選再び女の眞賀 に遂ぐ新作東へ

てんかんかん

映畵

た秀吉は、少年ながらも物に動せ 甚太郎の姿にジッと眼を苦いでる やがて、厨手を突して畏まった で引退りましたが、斯くして黒田蔵に及び、甚太郎は、上々の首尾

李喜墳人) この博柱華やか太人生の黒雲です。無代で進駆にますが、本階の手引 「野工館」 「東工館」 「

天晴れ一角の街にもなるべし

は人間の道

代子代、発川

本行日 開間 演

利根川の政

る不即職な総職級の襲撃を輸入し の転ば生寒研究所へくガキで財政を調整を下げ、戦略所に殺滅る ます。 製造市地田県小川県 こと おいまが まず、製造市地田県小川県 こと おいまが まず、製造市地田県小川県 こと おいまが まず と 製造市地田県小川県 こと おいまが まず と 製造市地田県小川県 こと おいまが まず と 製造市地田県小川県 こと おいまが まず と 製造 市地田県 小川県 こと おいまが まず と 製造 市地田県 いっぱい こと いっぱい まず と いっぱい まず と かいまが こと いっぱい まず と いっぱい と いっぱい まず と いっぱい まます まず と いっぱい まます

時の文化言を上げいおき居ります。

V

日本の

熱帯の樂草で

高血壓と

三郎 荒水沼 泉消子 外寛プロ県寛潔郎主演 五十鈴佳子 城濠オールトーキー 子貸 し品

ンスでは事務に開戦となつてある。す。 めば難しい設理素を無料で送りむ

短暦ジエームス・リー:原作フランク・パートラットロゴールド钽特作日本節 シェローレル オリバー・ハ極樂劍難女難

高杉早古世大郎

小笠原章二郎山路襲人花

主演員之前

芳香 無害

大學の獅子

一完本貞子

ムス演 監督

山田長正 俊 (位)

竹座

ス超特作 学生に配り五銭 大衆料金十銭

マイトツ インスク リリー

を除き心神を爽快ならしむ。 頭痛、變鬱、倦怠、疲勞等の障碍 は再び正常の如く際められ、且つ は再び正常の如く際められ、且つ

店商 懿 野 塩 社會式株 阿米區銀本田銀路 阿米區銀本田銀路 阿米區

を整調し、健康美を豪揮す。の血行を旺盛ならしめ、月經して、勢力を増進し、骨盤内して、勢力を増進し、骨盤内ベラニンは女性的特徴を保持

京城府長谷川町一二一(電離本テル町) 京城府長谷川町一二一(電離本テル町) 中村耳阜咽候科 中村萬里 電話本局(2)三三八七番

リ經に宿

0

「間」 私は二月前大食をして床 に着きました所が翌月より口に 有きたと云本ので石種口中薬を 角状だと云本ので石種口中薬を がなけりません。

主人面をすれば、交長傷のはうで は兄弟か 何かの 如くに 思つてみ

答本田博士をれば口内

丞 變 化

回塞回塞回

容色&で勢力減退女子 神經衰弱 子 宮發育不全子 神經衰弱 臘のみにても目的を達し得らるにして、婦人特有の諸症款を内本剤は結晶性卵胞ポルモン製剤

1000 和 本 1000 在 1000 在

優ペーター・ローン・スタンパク シースタンパク 野田特作日本版

近藤勇

| 現住の心魂を傾

② 三階の 三階の 公**店**のは

一服で **孙**黛 楼の

後出場される選手に担意したいの ・ とは今、 ・ を好記像と云ひたい

全般を通じて鹿内君の十風魔技

来るものでないことである。四ケー語総面記録は嘗然であるが重かで 五千米を走る様に値かの検査で出しるが本大會最大の牧艇であつたであるがマラソン更定は一萬米やしのみが本大會最大の牧艇であつた

月以上の殿鎌は是非とも必要であ一日本新記録が出る處であった、

墾間で走ることは自分の力を知ら

一線なことで僅か一調間や二週間

既内君一人と思はれるのそれに第 の成職から見てオリンピック選手

一候補である孫君と合せて一

以前に走つたことがあると云

五分で駆りの選手は途中撃撃し滅。西の都島と「米八〇くらいのもの姿であつた」若の自発は「延問十一の怨愚黙の十二米〇五、窓田幸治・一般であった」、「米〇五、窓田幸治・一般の大田・一郎の歌歌、フィルドでは配え難

初歩の選手ばかりで興味を失して ン既投参加選手座か六名でしかも

リンピック像選の一番呼響であ一節瞬を及ぼす様な事が出来ること

があるから注意すべきである

トラック競技は群治すべき所止

戰合手大設昇 方 医三 辨 洋秀 下

ちと

かわをるぬり

オリンピック豫選を見て

宮 へほには

しまつた、決勝に入つたのは僅か一はなかつたが五千米で一級道の罹君

人星果都君だけで記録は一時間一が十六分九秒三で優勝したことが

ちょつとの練習

では出來な

だらしないマラソン

caratar caratar caratar caratar caratar

叩民總動員で 至れり盡せりの施設 "新興獨逸"を紹介す

> のための優に設備を設ける正確な ビック大戦場内に参加者及び観客

ンピック村、時度、総直が際の酸ブランを出してゐる、これはオリ 肺闕と一致協力して組織するもの

る、美しい花の吹き頭ぶ夏のべた窗に参加しようといふのであべルリン市民自らオリンピックベルリン市民自らオリンピック

程だ。これに関によりをかけてゐる有るかに関によりをかけてゐる有

理)(解)と関内際光を命

8万行前記8 監 名取洋之助

(人)(員) 住ぶルリン市所



手選本日クッヒンサオ バの……よめした勝む

技はドイツの首都を代表するもの

誰が

一つくか重都開難で投票も標々に分 で四個二分九厘のいく挙を示し越信古徴君が打散七――安打三で五割、君が打散七――安打三で五割、 首位打者となる? 一世)(界) 世界に知られて

選爾出過選手は70:0九、十雨日行 |第十一回國際オリンピック日本||新果次の選手が決定した 伯林大會豫選 派遣選手決る

はれた常治療の成蹊に基予設備の 五千米期長者全監督肺商照 国際出国選手はそられ、十関目行 田幸治 4マラソン原義領 4一萬

● n元 b 元 0 n元 b 元 0 n元 b 元 0 n元 b 元 0 n元 b 元 5 nn元 b 元 5 nn元 b 元 6 nn元 、若さを永く 護りませう

ほんのり魅力を堪へさせー

ニキビ・中族の悩みを消して

弾力のある和肌に致します

すつきり色美白く、キメ郷やかに

肌の為によい白いとてもツキよく 色味は八つ!

オークル一號・オークル二號の一覧の一覧・色・ブルルン

美日く!

育でませう 肌健やかに

初夏の微風より 肌に爽 やか

美粧と肌の築養の二作用をもつ一雪印です そのまゝ美の素となり、若さを生出す さらつと地肌に溶込んで、べとつかず

無脂肪性

どなた襟も お素肌のまもりに……

店商吉政保久 京東

通學の隱化粧に

ヒゲ剃後に … 白粉下地に

備へませう お場上りに

日朝鮮郵船駐出帆

昭和十六年には對米五割八分に低下

用意あり水野海相(鬱)言明

海軍省所済退加豫第の内容を

第四分科會開かる

經るため提出される時に脱退通告が殺せられるのではない歌原選係は二百夜來急に暇宝の如くせホッアの名を観りエテオピア併合に哪子の

今週の末、三下り牛を叩きつける

暗雲に散はる

佐枝軍參謀

めつた▲詩の由来につき詩人ヤ

れる失態婦人で

☆最後の犠牲者

に魅せられて▲

院は十四日、上院は十六日それぞ

時十る緊急令を審議する

服を開催、エチオピア帝 ・ 才覧に意義重大なる旨を附してる

政府當局は阻離な説明を加へ

内務關係諸案につき政民協議

大衆生活を脅威する

衆課税に

第三回發表の分

▲その思聴を順 **挽歌のやらな**

三四粒の少量で足り、腥く小豆大の小粒で、一日僅か なく、胃腸に障る咳もなく、三四粒の少量で足り、腥く 樂に服み續けられます。

旣に遅い、結核にかりらぬ 注射だと大騒ぎするのでは なつてから、入院だ、薬だい…といわれます。結核に やう平素から呼吸器を丈夫 にしておくことが上乘です 内にヴィヌミンADを充分補給 つたら、誘題の人だちは丈夫女 が病氣にかゝつておることを知 家族や友だちや或は隣人の一人 に夫丈を器吸呼

10月11年

不定電話] 家識院第二分科會、 時二十分開館、まづ四級所質

一般現を懸察するに抗日にあらい。

逝去に先だち胡氏筆記さす

夕刊後の市况

了五三五·八八 一

| 八八七〇三三

三七七六八二七七十二二七七十二

小電に伴つて敷設された狭軌鐵道

四個九

一類防策を購しておくべきです

便に且つ永く馳き子に肌める 保健類を毎日忘れずに耽んで 売分に皮膚や粘膜の抵抗力を 選めておくことで、これが結 機を乗り返れがある

せれには、ハリバのやりな顔

百の治療に優る…

大五二三五九

、八九九、五〇二 (五九〇、六六二 (五九〇、六六二

產地別

し(確証包)

開館、松田委員長開館を宜し削日

職外十二地方分

邀 商店

東京・大阪 田

本町田張元三郡商店あて毎中庭次年近早年 と題する中村博七鴻小田子は東京日本高區 『呼吸 器 揺っ 飯岐は於ける肝油の應用』

ジェラ製の遺む

る人それが自慰 やつと盥ヶ月期

ピの一語の外回 したが▲それに はからの「物質」

に属り部内に野 に属り部内に野

壁の最後の記念 切り取る金様と四年即私の愛す

<u>L</u>h

典と石湾の半身

れは半點内における試験場が

認督所一元で

進んでゐるか、本所

権において完全するものあれば、

元的活動の砂機を避嫌するに能

はないと思はれる。この監督局

の問題解決の問題である。語じて

いかというこつの観覧が、

れを見れば、試験場の数はそれ

と標山ある課ではなく 建筑と機

者において仔細に研究調査を進め

機構の運用といる一覧について、

日成り研究の餘地があり、この運 て然るべく、實際問題として組織 有機的ならざるものかありはせぬ

つでも孤立的過立的立場に

他の器での試験場との組織的一體 問題である。各地にある試験場が、ればならぬ事柄は、その機能上の 検討の必要があるのであるが、今 に酸酸されたものもなりとせぬの

の監察門的正場において十分形

つ重大駅心事として設計しな月

れて、それほどに必要なきところ

けれども一方においては、ある

地の地理的演奏的事情において、

しても、水産試験場にしても、特設

銀中策に適應し継き場合なじとせ

れが存置の必要の止むなきものも

當然これが對策としての

ものであり、遅かに之が敗壁を行

かとは困酸なる事情あるべきも、

跳その他の都合からして、

鑑みて、これが集中策を講じ、

の内容の擴大量化の要あるとは、

一日の局長館職における總督の

白金よりも高か アルミニユーム 今では大衆の電見

ユームの町敗は、瀧く関内の常覧に相應するやらになり、本年度患りからは、輸出に向はんとする病、至る器、発訓アルミニュームで作り上げられようとする時代に認識達して居り、我が国でもアルミニは遺に邪世の慰がある、戦みに一報の家庭を聖けぼ、歌趣、繇類を初めとして、熊光釈より自憾時に 態に多、進步襲強を遂げて來たのは、金鰡アルミニュームの最近に於ける大極化であると申さねばな 初めとして、萬殿の家庭用具に至る迄アルミニュームが無くてはならねとさへ考へらる」に至つたの 9ある程、容易に手に入らざりし金盛で、その利用の價値を搬めて、殆ど各家庭にがける事所用具を |翻像から、今後に使った事のないアルミニュームナポレオン三世が、像意の時代にはアルミニュー ムの起、アオークを作つて、

ルミニュームが生産するやらになって來た際には露れたエピソードがある。 斯くの如き實用的方面から考へて見る時、

つたが高い質用を投ぜなければ出

を工業的に作り出せる様な状態に つたのである アルミニ

おいて研究なり試験なりが進めら さは、總督の希望するが如く、全 有機能組織としての運用が全く無一 全然離れて、比較的容易に手に入して破策を続けたところが、其のル のである。斯くの如く工業的に生 何等の経験を通する事無く、程であつて、其の南書の間には全然 館に、此の製造方法が認起された。出來たものゝ中に、粉末にした白 ンスに於けるヘルール、此の個人 担展を以て、千八百八十六年二月 ど同時に、僅か二ヶ月の時間配の へられて居つた化學館方法から し御る大體の目安に、これ迄に ームを蹴り込んだところが、滌く いアルミナ、即ち酸化アルミニエ

鮮数ヶ所に分つて、立底な機関と

意識となる。故にこゝに一考すべ

れてゐるといふが如言とあれば、

現在のまゝにおいて組織機構の運 的効果あらしむべきか、それとも

ぎかといよ 三つの場合についても

り上げて、世界の人を懸かしたの はオランダ人のエールステッドと 金斸アルミニユームを始めて作 つたのである 聞いて見ると、勿論家庭内に於

於て、製造法に成功した人として 現化マグネシュームを用ひて失敗 に童石を賦ひて失敗し、其の次はられた問題であつたから、第一番 リーンランドから舞つて来たもの 記石であつたが、之はその宮時グ 彩内から観覚せればなられのであける僅かなる影幅によつての質量 といふ事が大切な仕事として考 を指かす。語解となる何物かを探す一 したので、第三回に試みたのが水 自分の質験室の中でフィゴを

|る酸化アルミニユームであるアル | ツボの底に、銀の微な小さい玉が | のは、其の二人が如何に因縁能か しめて金属アルミニュームを得よ一分の研究の結果が始めて成功した し、電流を通じて電荷分配を行は、る、此の趣處をしたのを取つて自 現之住で は世界の平虚領ミナと呼ばれるものから之を磨か「蛇つて居るのを趣収した光麗であったがと云。事が分る端である。 |離石を取びて殆ど解時にフランス||大脚壁質に於て、アルミニユーよ||から見て趣に、其の鯨に付して、 といふ事が分つたと云ふ事である | 百十四年、同じ年であつたといふ。シントン記念塔の頭上に、百オン |年、船して交其の死んだのも手丸。慢重品なりとして、アメリカのワ で同様な結果を見たのであるが、一はブラチナと河一の價格であり、 から出て来るボーキサイトといったは、 フランスのヘルールの方は、フラ になり、観狂では少くとも一萬烟 ンスのルボーキスと云小小さい山」以上生産する處意調者して居る事 一方二十哩離れた一大手順意内側の製品で間に合う線 現在では世界の年盛年して野水に及ぼす経験は此處に第 干八百五十五年の頃のパリの

一番人日常生活に取るる様々の問題

な、は数十年の後には重い金属で

を吾人生活の上に奥ふるかと言ふ

最大であるとすれば、 若し、人間の體力が早期に於

は、何故に朝廷後にやらないのか

をしようとはしてゐるが、早起な 私は眉蜒らず、出來るだけ早起き 時から始めたらよいではないか

慶も人室のある準闘試合を、何敬 | 午前中の活動といぶものは、既に

一様快な自指であると解信してゐる

音々文明人にとつて示

産量が著しく増加して居る結果と

二の謎選を遂げた、マゲネシユー

世界を駆げてアルミニュームの生

断くの如くにして

安い高いは金鵬アルミニュームの

農する次第であつて、電力値の

運衝點火するに要するだけの電力 つて居り、其れに襲する電力は、 **ムの一ボンドを得らるく職嬢とな** 4、大體に於て、アルミナの二ポ

十ワットのランプを二十一日半

こなくて、朝鮮崩淵に産する明雲

は萎血競等を用ひたるにせ

ユームなり、吸はボーキサイト 製造するのは、其の館化ア

ドを用ひて、金巖アルミニュー

名論か?迷論か?

起き過ぎて、あまり際山餌を拾

早起きに三文の徳あり

面白や!物は考へやう

価格に影響を直接有するのは、此

金融統的な岩へ方を居れて、吾々

一早期は身心共に一とい

որում արժանում որ կուրդուրայում ուրորդուրդությունը արդարացում արդարացում ու արդարացում ու արդարացում ու դերարա «Աշանում արդարացում արդարացում արդարացում արդարացում արդարացում արդարացում արդարացում արդարացում արդարացում ար

都市道路問題

著しいのであるが、その結果想に至り都市人口の増加の傾向がに至り都市人口の増加の傾向がに通り開放。 都市となつてゐる、近代都市と合動より護運せし都邑が今日の 鎮南浦府尹 朝

「包配の問題、橋要問題、上交叉點の問題、立羅交叉

中河夫妻の内職 新聞に「要愛無限」と参いでいた中河県一大妻が伴のよいでは有名だが、彼が「爾妹」 のは有名だが、彼が「爾妹」 のは有名だが、彼が「爾妹」 にて恋問者を夫妻合同で財産 し、文息青年と歌をたしなむ 銀ぎんとを確からできせる。と いふの社との恋問者が一般。

の方を目向でこの茶話會を促してゐるのだと云ふ、それやしてゐるのだと云ふ、それやしてゐるのだと云ふ、

りて、私も関領で色々栗を服んりて、私も関領で自々栗を服んでする。「東京小任町○○標が用向きに来

なく全快致し、依て小生は「鯨」なく全快致し、依て小生は「鯨」を申され、早速続即「糸蒜房」に関わせしに関もなるが、早速続即「糸蒜房」に

1

『城大文學』五月號を讀む

月十九日まで、AKから収送した本書は昭和十年四月十二日からど 實用作文講話

別のものと思って居ましたが、 師わかもと』は脚急病だけに有なく全快気し、依て小生は『軽

西に移 来たのだつた
一方面に移 来たのだつた
一方面に移 来たのだつた
一方面に移 来たのだつた
一方面に移 来たのだった
一方面に移 来たのだった
一方面に移 来たのだった
一方面に移 来たのだった
一方面に接 本面に、発売した。 お 一方面に接 本面に か 一方面に 一方面に

のあるを捕取するのである。試験

のものとなり得ると認めらる人

も有機的

変年前、ホリウッドでメリー・ピック製年前、ホリウッドでメリー・ピック

は、億大なる武器を遂げたものだ てつべんを飾り付けたことを思へ

何人も窓かざるを得ないので

ルミニユ

へのアルミニュームを関つた塔の

はいるのの、細い社会に、 がやつてくれると がやつてくれると 引越の荷造りは?

せん、例へば鏡壁などは持て と家人が注意せればなりま たあんばいですが、何より宝 入れ、化粧箱の方は引出し 木の枠が是非人用 でよく包み、夜具布圏の間に 鏡をはづし、鐘だけ大風呂敷 あまし物の一つですが、まづ 肌に荷造りします、額の類は

子は何と組合せて何の程に入 **超で何箇、その中、トランクをつけねばならぬことは、全** た、世時計などははづした撮 簡数を明日にすべきです。 に各荷物に、番號私をつけて 何箇、行李何箇と記録し、

れてあるといふ風に、メモを

々の生活機能、活動能力は、星朝 とは極めて稀で、大抵夕方からで らうか、英國遊戲と跡も生後三時期十一時期に開かれるとがあるだ 題のお茶の時間以前に弱かれるこ (以上ハーバース誌より抄譯) 徹な、最も健康な、最も分能ある 批の説明があつて以来の、最も幸 就みに、事務所も后部も工場も 人類によつて誰たされるであらら 間以内に生産過剰の問題は消滅 校も、正午まで閉園しておいて、 ・地球上は、あの呪はしい眼影時 午後から始めて見るがいと、一

一説んや、その徳は僅かに三文、あ の朝腰の快騰を、たつた三文で費 と言ふわけである

などもこれ

から事が多い 便秘、貧血、浮腫

脚氣を始め

度が

仁午前十時から始まるか、午前七

君も御承知の語、だが、器からす 質に、なんとかにも何分の理とや どちらに理屈があるか、それは諸 とは押も話が無理である、と 総数を出すのは、概案が肥端を破といふ、猛酸を含んでゐる為で、 といふ、猛酸を含んでゐる為で、 酸症狀は、自米中にリゾレンチン 復して、敷時間後には自分で 餌を啄む 様になりま 関でビッカー イ

即ち白米病は、平素は緩慢であ

優して、血色素を分解するからだ 中毒症状も、よほど緩慢になの毒素を中和する成分があってませんから、他の食物中に **抗力が強いのと、自米許りは 源で、たゞ人間は鳩に比して** てゐる人體にも悪影響を及ぎ この猛弾は雷然、白米を常定し よほど緩慢になっ

併し國民病といはれる勘系は一 併し國民病といはれる勘系は 一 一 銀切見など 本部所许良なくて、白米の軍湯 本乳が定りなくて、白米の軍湯 できかにりなると し 一般に知られてゐます。

の演業の話を受けることが多いの副食物も多く語らないために、こ別食物も多く語らないために、こ人が、男子よりも粗食に甘んじ、 ら所もありますが、日本の家庭館 で、これは一面婦人の生理から来 子よりも婦人に多いといふこと は目すべきに同かり

|毎の現れと見るべきで、市じて来 | 常に投資値文化値、方面で略米人くといふ線なのは、明らかに日米 | 事に僅み際居場分になる人が多く 「顧問をずれば、必ず居職りがつ」つて、早くも心身に致へを見せ世」が人に頭痛持ちが窘く、對仕事」に日本人には、四十歳を初老とい

一之を接防して

七十八十までの

九年の四月、闘氣病に罹り孤々(削略)小生は概葉家にして昭和 目分の脚氣と 愛見の消化不良 ij 大西照 造

見も此通りで『翻蝶わかもと』で 治つたから一度原まして見たさ かと中された原原まして。間 質成め、直ちに原ませした。間 ちなく便運が好くなり(中略)景 内の緒は螺上で見たさ の魔工にも宣修してゐます。御の魔工にも宣修してゐます。御明上にもりました。(中略)工場別上く非常に肥え獨り歩き出来 引催き服用中ですが、目下元 を目的とするので有りません。 が國民の健康上 一に生活無能を出来ったけ自然に 正付け、規則正しいに商を認る上 にして変なった。 力を供給しなくてはなりません。 ボー度に対象を活動にして変数を上 にして変なっても、 なって言い時と同様なりません。 ・を避けて、推動性の動を引く、 を振動やロンち、横っかとのもでありますが、この を振動やロンスで関っまりますが、このは、活在他们に推奨されて必ず。 を表しな変がありますが、このは、活在他们に推奨されて必ず。 を表しなっても、の内服です。 體力指力を特質する意にはまづ第

券換引贈寄図掛

掛圖一百萬枚を小學教育助成の爲

小學校へ寄贈

音へ御屈倉下らい

に「抽頭を削引を失」

――脚行ラメカ景風京東 等の國公野上

と人婦年中 化粧

お

エ門に胸に

戦を常用して、便通を整く自豪中族を豫院しら、『壁歌わかもと』の如き優勢な、ーフェ巌なり弱いので、お松粧しても引立ちませんか ますと、内部から自然皮膚が滑かになります

和する機分が、最も多く含まれてレンターゼBといふ、白米淑を中といふ、白米淑を中 なほ「健闘わかもと」には、以則
ゐるからであります。 だといる事に一致してをります。

モン、循生酵素、各種アミノ酸、から知られてゐるビタミン、ホル

「大き」を表するという。 「大き」を表する。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き」を、まする。 「大き。 「大き。

虚力 精力 持續法 記らて

tB して来る生理的結果によるのと近野に関うして、発音新練代謝が低下、 動力して、発音新練代謝が低下の 強に気勢とはない、多くは物性の うして、発音新練代謝が低する一般が低する。

作用でありまして、優良なるへー

るのは、強力な細胞膨形質証法

胞細の者接老はB 胞細の者若はA

になって來るのであります。 本類の設國元は東京市学公院大 の實展群東京一七〇〇番)で築 (関は廿五日分一國六十銭、八十 と 慣は廿五日分一國六十銭、八十

於いては刑事に期の二十萬国に比

町年同期の七十六萬年曜に比し計百七十三萬年間

協願支援の調べ

八回春人

重なる折衝も調定をみるに至らず

題の建物除却制度に不服を鳴へ、 | く都計書局の査定通りに建物を

輸出は九倍の増加

界の全面的好調を到實に彻論つて

羅津署大童の防疫

南季に注意が肝要

にみるに先づ特部子べきは輸出の一

信仰でこれは木材の月髪ましい

出圧感によるものである輸入に

津港の四月貿易

倍半に飛躍

總計百七十萬圓を突破り

お客さん

蘇聯の將校

いて後以めて仕地に出鍵の豫定で

して赴日したもので一圏東京に赴 雅行職隊へ何れも日蘇交点的校と 重加隊へ、ヒギヤエフ中間は平郷

在滿朝鮮人同胞

清津一上城中の晋理局連権隊長一する結果、現状に大した戦化をみ一初め新學研究のため赴日するシロ

八月一日から實施の見込

一港の委任

七日は威災第一階校器常で威雨

や列形中のおれ物がめつきり殖え

謝狀 前分會長北川三乘▲永年 動概と制定、四平水沽、福 澤、坂田年一、本間廣告、木村 澤、坂田年一、本間廣告、木村

終へ、十一日午期入時羅鹿出海、 西水鷄を迂回して清津へ向つた

ないが順子、ステッキ、買動団、撃て来た不思議にあまり金目の物は

である、驟では揚示板で最得を知

山火事の

岸壁使用料と保管料は満鐡で徴収

埠頭作業現在通り

咸北デー 愈よあす

ないであらうといばれてある

| 1 + キングに以下立名がありこの | 上た語文像所出版)の名中館に取りた四名は側型部域観光のため、 数打合せを行り続いて十年以上版文件の二雅技式バノスはは三層 微の文件の二雅技式バノスはは三層 微の文件の二雅技式バノスはは三層 微の

三水郡新塑坡配置公醫闕屋政言一北軍等のビラを厳布すると同時に

行はれるが特に當日は飛行機で威 ーは脱戦の通り来る十五日盛大に 【羅南】富山日満山の呼動成北デ

てしまふらしいので驟では「ナン

天小屋町八十戸を金畑した咸州郡「咸興」一臓三百町歩の森林と人

ムスパ

今後の生活

南本町山田一郎氏を中心とする同野本町山田一郎氏を中心とする同野工で新しき試みと期待された興

半島文藝」菱軒へ

がこれ等に對しては西郡組長単江には六百五十名の多數に遂してゐる

日満博では素晴らしい人氣

道慶郡内務主任の土産談

間 され近くその支庇院野をみる機線は けた府縣町の交面が丁子窟に機費 方義婦氏が小熊武之即氏から賈雯

館六十七個

錢十七圓三

年削から際へられてゐるが認近個

型チンレフ革總

によれば船に

電影に経一批革

岐川面四興里の山大事権失人夫

る見込みで、これに伴ひ受壁使用姿任避禁は六月一日から實施され

質は雅長期に配るため収容される 戦収すること」なるが、

鍵盤の保 4のは實際上極めて僅少となる、

保言料は湖地で徴収し明代、

は略々現在原際國際運費に代行さ

幕時に搬つた犠牲に對しても考慮―に築棚帰朝途中の築彦三の大佐を

「羅第」祭訓訓路さいべりや鬼は、あっ、なは巻新川現長は記書版の「羅第」祭訓訓路さいべりや鬼は、あっやらに「影響もこの頃だんだ人能調工時教育に向け出航したが、かのやらに「影響もこの頃だんだ人を活動を

延吉を本部に全満に活躍

自場會産費をあぐ

基本操法、分別式を行ひ、同十時 は、八時半から随田署長の監験、

台端に消防組事務所即に集合、

| 野順するものでこれで国土水道 | 野順するものでこれで国土水道 | 野順するものでこれで国土水道 | 小皮 校 山東 州で国土水道 | 小皮 校 山東 州で国土水道 | 小皮 校 山東 州で国立市が終るのを待つて曾 州で最次が到着した上でないと、タキリした日東や計画が観されたが流程で詠かるの学行で曾 州ではが通常した上でないと、タキリした日東や計画が観立出した。と、京都日本が出加するため高い | 今年リした日東や計画が観立出した。と、京都日本が出加するため高い | 今年リした日東や計画が観立出した。と、京都日本が出加りについては必よると歌県の遺址は、今年、第11人も昭華で出した。 | 「一にまないるしい、本語でも、「一にまないるしい、本語でも、「一にまないるしい、本語でも、「一に表述している。」 | 「一に表述いるしい、本語でも、「一に表述している。」 | 「一に表述いるしい、本語でも、「一に表述いる」と、本語でも、「一に表述いる」と、本語でも、「一に表述いる」と、本語でも、「一に表述いる」と、本語でも、「一に表述いる」と、「一に表述して、「一に表述いる」と、「一に表述ないる」と、「一に表述ないる」と、「一に表述いる」と、「一に表述いる」と、「一に表述ないる、「一に表述ないる」と、「一に表述ないる」と、「一に表述ないる」と、「一に表述ないる」と、「一に表述ないる」と、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一に表述ないる、「一

維津消防演習] 消防組費掌原器は来る十

葛麻を視察の高山東拓總裁

資する所帯大である、面して本施

理認前五十九萬三千個に對しその れを更生部落についてみるに要整

悉く願望成就

本府、道との交渉に成功

得意滿面の秦邑長

紛糾納まる

維津榮町の

| 依等の異数な増加になり器 壁に

[編集] 都沿地境川の西上市によ) 立退家屋

『移入では日用種質・総布紙類

ので更に移出に於いてはその大宗

新市場の約四十戸は立辺調研を終一後業務の報告

く ――威南の自動心王、方義の氏 | し動に今春、威夷所内閣はタクシーは成勇 | 自動帆王馳劉の日は近づ | 收合併して現在の威夷タケンーと **に殿に成タク及び中川自動車を置一1を買收、進んで威南國境の惠新一群自動車運輸合名賣船にも共衆版** 北へも手を延し 方義錫氏覇を唱ふ 更に今春、咸興府内朝日タクシ

多くなつた

驛のお忘れ物

廿六驅逐隊

あつさり諦めず

お問合せ下さい

風をみた都市計量令による原制権 【城津】 活況を推想されてゐた邑 | く建築許可の方針版に市街地に於 外張はないがその殿因は光般質 | てはまだ呂笛局にも確たる定見な 水腫定と同令の市町美化方針に 道路綱敷設計点等能に建築線「球域でかくては事後進歩上支壁が 翌菜野は丁事季節に入つて以來 ける建築上の結構性機武器につい

とみられてゐる、なほ間令に基一き根本的意策を講ずる即である 學校(副賞)三組及び副賞)三 型教練

年に背民職に組一後間では十三日 で質地収録を加せて、三の例 第二人生 して かまり は 別別良品 = 新品保證 = 市頃の半額

願の定乎で

大特價 一窓 金十九個八十錢 神社文は字附立園逡附の本晩館代刊便省員 原品資源・運費養績 が正月後 中です 御信用の上海社文下さい 東です 御信用の上海社文下さい

を歌った

官視察

| 各種自轉車卸商合置近 | 本

でを発音 中年門北上郷金 国城

削減の一途を辿りつゝあり更に 躍進會寧の諸懸案

『年度以帰史生命書に置しては天』完了したほこれと間壁に聖年上路 「織である事取書を関するものありそこです」定を行じ九月末までに職者職事を「織である

等別ならしめ質量を一月腹路に、中世紀生命落を前中六月末までに「壁と続むら生産資金についても甲角の原の単位整理が進しる情報を対象のでは、高利底の調査を大量と月末までに「連絡協調を踏けし、整理後は部追回とら 自動を対象の主と 人のによい を理念には、単独は部追回との自動を対象のにいる。

江原道當局の大方針確立 連絡協調を置にし更生農家の職立

整理後は郡邑面との 消防組の養蠶

、は今京六百二名・出子・大学において、第八十八百年の段落と巻、定年郎には現在十六会監一学地利用の桑園造成に岩手し初年 組員の植桑には 署長さんも出動 四百間で一千五百本の極動に った、陸雨適度、活着良好で削途 提計治六萬八千八百本の加桑を終 田定雄氏、組践は「髪」本に調

九日好仁、新想ゆ釼函署に向長白鹿二言公衞を訪れ同夜一 湯深のため張忠北村事務官は八

間の露定で十二年上で記支局来訪れ近海の

本計開城支局來開城府に榮榑挨 班聖(出 川森作兵水軍海 ツズ甲古中靴短 3点 底ムゴク 評判の五月號出來 名古屋市東區清水町

養鶏之日本社(夏本)経験)

(め十二日級東上四期川へ即日帰任

亦而為前

十四萬九百三十六坪に建

呈進業習9圓一書 製皮維熱等上 靴草總練訓年青霞

ア耐具健皮ノノ酸製糖ト文出 リタクトア作甲式 芸師軍夫ノ マカガ 爪 全皮部 ニ モ機除ナ酸 ス原子ル経療 ニ ニ モ機除ナ酸

經理部からもに通ずる重要 本桁の意に

絶断・二ケ年以上

四高面で新型計量中の普通製板に動車館が長方袋鍋氏は、且下工製・ が寄附

錢十九回三 足一 靴上網杖三鬼

し悲愴として一手間を浴路した

三圓五十錢

丁子屋支店

成興に進出

錢十五圖三足-

靴生學革總一底枚三鬼

村重オー 中軍革三 中の企力

定通り軍事映画映画、軍事諸湖を十六騒素隊、権に柿、竜の三髪は第 十日人間した職が野部的所題第二 **どんな夫婦の** 子供が丈夫か 乳幼兒審査に現はれた

部任意提供の形式で興



窗師

三大大会上

(/)

b

Î 證 昇 所 高 證好二火助水證 元治製アン本式本用
所作製本川
町池大属中市屋古名

定金昌波(**,」の三名は四月上교か





城津鄉軍分會 助勞者表彰 時郷軍の荒点を宜揚して何三時職

温井里のボ 先づ地質調査

リング

娫律の 建築界

条外振はず

育金五十圓つくの開金

が脱場、十二

多頭の金銭を

で多数の人に

區劃整理工事の

區域未確定が原因

北靑卓球大會 菜津北青山部所 品級製カツブ及 成績は左の通り 上記で各官公割 十日正年から

く一々道常局の指令を仰いでゐる

角蛇腹 1.70 2.80 4.00 ストコック型 2.20 3.60 6.00 7.50 リリスダギリリリ

町副總代の斡旋もあり、十一日都一郷も漸く解決した 却でることに右八名全員が承諾問 印するに至り、都能最初の立場紛

の首棚を除

局利債の借替と生産資金の貸出し

第十一名の配摘の書が膨化した、く来るべき間季にだける没水等の 【2000年記書がある。十一日一水溝の施設を缺く扱いからみて近

公醫會議と

ベラチフス患者の記生もあり、下「日幽殿顕新非に公爵、道公爵を召「精神修養藤禛を開催され、現に魔頭の外に獅チフス、【蔵輿】咸曽御生雲局では六月六「から道脈曾議室で中へが、現に魔頭の外に獅チフス、【蔵輿】咸曽道路では來る十二

の輸入が本年豊作のため流滅した まる一時的現象であった。 誦洲栗 | 磁質質能、豫研食機のチラン壁布

結成病治の雄防概能に向つて国民 省理上で住民多数可器の下に舉行

力適能することしなった

晋州狹川兩

署長表彰

即即が誕生し十二十十後四時から

に燃え農民をして現

林潔長が承り窮民敦辉に道 た皇書劉策三は天災地場神役を陣頭に本格的に飛



で服かである、魚は二年子鵬、テス、めばる、が匹んに釣れ、鞍の島に一年子鵬、テ

りの好シーズンに釣フアンの血を升一圓五上髭の高値ながら久し振 連場とされてゐる、解は藻ヱビー い合から遠く海霊、洛泉江方面が

大都市の體裁を開へたが、府曾での行政區域機骸によつて名置共に

難島まり受は同様化すのではない

かとみられてゐる

馬山商業校

本年卒業生

見せ、京楽海岸、南海、牧の島方ともに好夫に悪まれて服に活真をともに好夫に悪まれて服に活真をの動は昨今の要かな初望に入ると

られて手も足も出なかつた釜山崋山】正月以来不顧の天候にた



清州一結核探門協問衙州郡支部 日午後一時から野公

結核豫防



熱の意氣で運動してゐるが殊に農 がら趾して一脳の深刻さと人間がから趾して一脳の深刻さと人間

阿部内秘部長、それに新趣財団の 明殿の金重楽馬長、明四超層級の 新年度早々から道勢振興に

編成より、王城成年の問題が事、

しろ一千萬圓近い大像原を安々と

じめ各方面 **強い人で健多の功績を残し三洲に捌き職責を定うする責任屋の解決の節に當りその都度鮮やか**

形され現に従七位動八等の勘察 [承登庸] 始興郡では大京城に際しされたこと二回、その他敷次妻 観賞 木 盗 採取締年勤韓助等者として時計を撤興

相撲で築く

相撲獎勵會誕生して 華々しく土俵を開く

【その一】十日午後八時年ごろ 大邱コソ泥二件

ある

切破路にして旅器に無中になつて

き立たす除異は、各町、各盟盟署 水仁鑑道起工式の二日間市中を沸 [仁川] 十五日の祝賀曾十六日の

知僕に反映してゐる、重なる荷動を派し總道業餘の上にその影響を

ざましく、新馬山、野馬山、北馬山 りは歴界好況の波に乗つて日にめ【馬出】ミナト馬山松立の歌進ぶ

一瞬の貨物集散状況は非常な活点

川のお祝 各町競ふて

し人気者にはそれと、賞品を贈り にわけ税間期の演繹場で審査をな

熱心な獎勵から區域に難題

結局互讓的解決

1)

瓦は暮ら形物所外型建造に充てる

点だったが、これに使用したのは

総となり削年間期に比して實に十は米償の昂齢に伴つて原頭集貨物

【華山】四月中の笹山の産米廻

釜山廻着米

埠頭に山積

八萬偏に選してゐる、腿遣した娘

別指令の豫定製造高六十萬個に對 |場に急行跡院中

『『豫別以上の成果ををさめ、本 | 戦略したので直から隣口技手が戦

各方面の需要激増

|定は三月末であつたのを開月

は美軍に完成した、建築界に

源増かりを示した

○遊▲初一三四、一四四石五八、四一六队▲同九○、七玄米一○二、六三二队▲間米

大萬一千八百六十三軒、十一町の

THE WAR

地手が土 医場を ゆるが す、二番 | 「富 | 2 | 警察資配に任源軍人分配 | 「清潔」施選等から膨散する。 | 続月都申長手が符合し各二首甲步 | 連任 | 破戦史物の駆け先が戦り襲いる。 | 続月都申長手が符合し各二首甲步 | 連任 | 破戦史物の駆け先が戦り襲いる。 | 歳月都申長手が符合し各二首甲步 | 連任 | 破戦史物の駆け先が戦り襲いる。 | 歳月都申長手が符合し各二首甲步 | 連任 | 破戦史物の駆け先が戦り襲いる。 日和に載く統領は非常時の國防職が重要し衛生衛策制作影響とが支、折台にず尚日は物別れとなったが、

森さんに大人氣

脳真で初めは勝合君、雨気相に吹

んをなげ出してはにかみながらコり投げられたが次は記事にお父さ

(島族は森さんの親子相撲)

簡々好天に餌ゑび排底

りつ放し

も喰ひ遠ひを來したものと相く新。近く直徙的に歩み寄り解決の見込 地番の變更 郵便配達泣く

編入により行政に関が整度される

面目くないと一般にその存置性を あるので、赤い著物の囚人作業は 回は郎上重要褪されて來るばかり 佐割を演じてゐるこの煉瓦製

忠北辭合(土三百四)

任忠北道衛生技手(陰城、柳山吳 錫

林飘動材)

るるのできるの

慶南道内も

今年は遅ら

際集中であるが、府内各官公民【馬山】府では海軍協會を買る の申込多數、頗る好成綴

を受けてゐるので馬山署では衆力からの遊客は一方ならぬ被暴 **県大者が該図基しく、住民や始** 【馬山】最近舊馬山方面に街の

入學児童は男八十名女

百二十七石を増加し、財界好際を 判加、戦出高は清連三百石、焼品

月中の蔵出品は次の通りで造石前

、馬山コ十年度週類造石高及び四

▲米質 一等(三九點)石崎関重 は有志の寄附二萬六千餘国を投下五等(三九點)有川宗維溫重 は有志の寄附二萬六千餘国を投下四等(三大點)八谷率次郡長、の英職を告げて込れ淵頂小學校で

配完成したので十二日午町 から多数官民参列して落成式を翺

比、て二一、七一〇 題の増加 財、首州の得米之書等である 基、首州の得米之書等である 基原、首州の得米之書等である 国際のののののののである。

【連項】近年是重徽増のため数字 | 行した

新教室落成

米と石炭を筆頭に

浦項小學校

荷動き極めて活潑

進軍喇叭高らか

八百に近き共勵組合の設置をすまし

慶北道幹部大童の督勵

るとになったが微数は各部を通じ

るとになつたが物数は冷郷を通じ 八、九日▲梁忠二十四件十一、なつて観彩する小作像読を題やす 件十一、二日▲河北二十件五月なつて観彩する小作像読を題やす 件十一、二日本河北二十件五月(本山)豊麗道の各部小作変鏡鏡。 百十五代の少数では弾は左の通り

慶南

小作爭議

百五十件の多製に上り

釜山結核豫防

年中行事協議

委員會調停を開始

- 性能 外観あらゆる點に於て國民受信機としての决定的製品

R-11プラスチツク 正價 27 圓

加はりその間互に知識を交換し世」たらへ上り大列車で田融 **川家事をも 援助し一家の 蟹栗に ┃ 刷水を受け道農事政績場を展製 治をやつてみるが長谷場所長の否 −生し三名は死亡した事實が十一** 繁目で即不足 馬山刑務所製煉瓦

にするは勿論家長の作薬批価に従い 陶叡諭に引撃され十一日関忠南直征に家族の一貫となって歴食を共一ることになり一行は漢子、江里日 以來從年春何名かの生徒を熊本縣|好成談を懸揚しつゝあるので本年 家に設備させてゐる、これらの生」五年生十二名、四年生二名版選字 施託邸田迎村に二週間配遣し属版」は要業、性行、實際ともに優良な ひその指導を受けて慶事に健事し 大田」前山間撃攻では昭和四年| 例を知り顕著に翻選するなと現る 醴山農校の十四名 質地勉强に熊本へ 際に組合河野地高減投から

内地篤農家に

た、在ほ目下のところ筋肉の峻壁、燃へて追溯してあるの。直覚を緩縮せしむることになっ、廣深調配にいっれも断當の内容を



朝鮮コルク

あす操業開始

設定などは山梨器質時代からの器

解決、洛東江流水調重等の極めて 町遊館の移標、工業用水の根本的

題を語る**明** 南の産業郷 [宝山] 歐 かな数字昨

既評は限る良好、實際融館に役立【馬山】商業學校卒業生就職後の

ンチキを退治 仁川の社會事業團體を

なく、府館もまた鳴り物入りで決

かた臨港しに東方から現れると、一葉許可あり次第週工の書 輝はれた朝鮮コルク工業所では、「永登浦」よる二十八十六段に見 その後工事復態工作を急いである

| 東が聴止されたよめ現在に家では | 男詞に動し一千三百名本を搬撃しれが聴止されたよめ現在に家では | り、先月二十二部一干九百十七ヶ 【大郎】昨秋米、落路や芝草の採 僧にボブラを前樹させること、な 廿二ケ郡に一千三百萬本 ラ樹の増植 慶北て一齊に審査

最しその姿勢を致ものと如く祝船

問題示罪に光る破脱として令名あ

原間 明報者が関門ではさき

如く武典をすまし熊裔節長、春朝した、官民有志多数が参列し盤の

質長の接箋があって、奉納取組に

【仁川】府當局では保護事業の唯一ひものにする體験な社館事業臨證

事業階層の統
脈を計り一般所民のの策
厳を期し出來れば所内の社會

隣保館中心に統制

■ ものばかり、大いで太年と入って、整部健康の実名のもとにかくれて、影響の遺産部内容破害を聞る投票に関する。 の事業を申心とするばかりでなく、機関でも十分この難に確認してある折っていづれも要許の素実工業として、にすることになつたが、大文に指しさであると一般も希望してある折っていづれも要許の素実工業として、にすることになつたが、大文に指しさであると一般も希望してある折っていったが、建設を開きという。 一般も希望してある折っています。 一般も希望しているのが、大文に指してもるが、大文に指してもると一般も希望してある折っていった。 此意事業膨慢を結成し、衝支懸会

和質に皮吹してある
が高一天 「五〇石一」ル本波
動一〇二石五〇八本勇健
動一〇二石五〇八本勇健
動一〇二石五〇八本勇健
動一〇二石五〇八本勇健
動一〇二石五〇八本勇健
動一〇二石五〇八本勇健
動一〇二石五〇八人
の世、六八〇石七二〇人秦道一、
ペース一石四三八

發診チフ

【釜山】 健嘉斯山郡大鲵面長生浦 爵山に緯波

家庭へ店舗へ・ビルのオフイスへ……プラスチック超小型は一

の行政権域機数によって名異共に たくし骨寒しやうともせず健らに 製菓工選挙があり素質らしい經過の行政権域機数によって名異共に たくし骨寒しやうともせず健らに 製菓工選挙があり素質らしい經過 熱意なき釜山府會に暗影 振りを示してゐる

さて山積する重要案は何處へ一

つのき をり乙個程度の學校であるが優に 卒業の加き全部頭り切れたが、 てゐると云ふ状態なので、本年の ほ求人側が多いので削年の卒業生 まで引つ殴り風と云ふ駐職線に異 一般から非常に歓迎されて

常なる語識を転してゐる

り場合は経界と

成者に多大の

思彰

で後天候の

思り込みが

取詞にゆか 修定よりも遅れ道内全部の指揮完 か今年は天候不順のため町十日階 は十五日ごろと見られてある、 「年四月中ルー齊に實施されるの【手山】 慶南道内の陸地稲荷觚は 馬山酒造高

行、人奥兒童よ月八十五て、曹延部人學者被表、人學者を「個域」関域學院では去る十



+

課撮影期間

(廣告及宣傳として價値あ昭和十一年六月二十日迄

審查員 男子妻

· 100 (各部 | 各計四名) 韓頭加工茨附品

商業美術寫眞懸賞募集

朝鮮寫眞聯

第一部 | 閉鮮態階府事實局製品 想象、人類型品、食器(工費及機等による業人と) | 第二部 | 東京大学 | 東

奈加資格者 全前館(タウト、海道放料水(同)

中山範士の妙技(計画器語)

の個外面視を妨ぐとになった、昨 語綱も元質させ國所の元質、印機

警察網の顕光以二十八萬国を計

來る七月から整個以下

を助するため胜報の如く昭和十一貫を計ることを極力製品してゐる |最では更にスパイの徹底的極||振露、大楽の力によつて國族の五

當局の許可が遅れると陳情

組合長以下組合役員が揃って本版

この除今すこし冷蔵を早くされき得ない状態にあれ、なんとかの破築做正で今もつて仕事につ

當局心懸命に努力

はしてゐるが、一方本所繁終節で一時局を深く認識自重せねばならぬ

で随手を延一ある、これと間時に半點の思蒙も

使つて大物に目を光らせる機器ででは各道警察部の外事係の英質を

は趣兵隊と闘力スペイの路梁防止

大な醍醐命や職業を魅へるとを悩みバイのが耐報を描むためには蔓

而計施行の當初

自手段とする、世手や断路を**総**然

|情勢の失眠化につれて帝國の||ラフク・チェンバー戦りで撃々と 當局愈よ一撃粉碎の準備

察後廿一日安東へ廿日午町七時廿五分入城仁 の連絡を駆に逃避にして一郎の使れれてゐるものもあるが、耄謝一郎 迅速に許可してゐるが則記一點に 観に委ねてゐるものは今まで逝り



· 趙京護道保安郡長は龍

ノ脈の皇屋気

運然船で押しかける連中に仁川智 西大門町の暗の花三語に激増

| 智、概称配質局の出版によって | 一語である(意味は福祥宮の県) | 日下華楽中の転信質館、原城消防 | ら南大門に到る幹線は直線となる 一難三倍峰に増加し三百人位もる門町は版はひ、闇の花もこの春は

校長は發狂状態

本月中に関島雲衡温製作所も立ち (戦闘で配った)向市最高町の三分野 (結果建設)等に戻る中心と物質が終来の道路機製工事を行ってみるが) (東京電話)鉄砲車:中學校の運)が、鐵建潟の発體を解詞に附した

グ戦第四日成績

国税間の盟君と協かの會議で立場 ではより受験台州せられる。 では大阪内容見み無代で指呈す では大阪内容見み無代で指呈す 東京市第四条第二人三五 日本井鶴士第四条第二人三五

一機械無代進星







賈維次統その他大肆棄犍の常城と「窓向であるが、蔣來、光化門が通」るが、十三日名古屋衛大小宮城議」の黄冠を派遣し雲版中である賈維次統その他大肆棄犍の常城と「窓向であるが、蔣來、光化門が通」るが、十三日名古屋衛大小宮城議」

代妻者を定めて本線獣に東込んで下さい、事族所は京禄日景枇内に一四、各地方は一獣龍一ケ年一囲五十錠です節穀を海に艶毀を添くつの獣籠として加盟する組織です。煎毀は京城府内は一獣龍一ケ年

展覧會 七月上旬京城三越にて開催の

半島の寫眞藝術向上に活躍

今は新加盟期です 京目寫友會

丁五日に賑やかに

原題は組合が主體となり東知番が一般で組合が主體となり東知番が び事中の大もので、この日は遊跡 元、この間前祭りは新町の年中一版して郷大に郷行することにな 五日新 てそれに電局の許可證明書

要文句· | 京議国に陳昭することになった 一総文氏が経験して西大門塔を派 か素麺代数十圓を横置破鞴の途中 上二日新張州の移助警察網に 的商北町西一製煙所の最人洪龍島

ち位に思っていたがこんなに凄々 ことがあり今度のも略同じ内容のんだ、五年十二月二十日にも栄た 八年後六時波文句の脅迫獣が舞込 この九〇馬麻隆金龍樹(この馬がの五五熊屋)、姓女(え)方へ背楽町 安威な音景にして馬は壁のオンド

一城灰江通九雜尚商金魯仁氏方へ

の積りで語れるといる程子紙が京

何れ近い中に殺してやるからそ

これはく

失禮な珍客

お前の今の資産は謎のと思いか

を加いられた

八は十二日夜府内各署に



大工をもの援助書はこれです!! 大工をもの援助書はこれです!! 不理学を担保がつものはかりです。 対日から従立つものはかりです。 対日がら従立つものはかりです。 被雇寄たいませ に御使ひ下さいませ に御使ひ下さいませ 北柳病專門

に御使ひてさいませ 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金 東京電話本版四八〇九金



中大なる新教明 を主きを表現の単一の を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 の質である。を対し、 の質である。を対し、 の質である。を対し、 の質である。を対し、 の質である。を対し、 の質である。を対し、 のでは、 のでは、

特約店募集 特約店募集 产所電上一個所應り特別店を 正願會本所建立主意語所 上願會本所推翻班項 中國,

な文字の流れ WWW

許き手を偲 はせる清新 ATHENA

本類住所 京都道旭川湖西面和 本類住所 京都道旭川湖西面和

京城地方法院 原教者所不成。 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院 東京城地方法院

XX 京日秦內

告に限り特に意図にて掲載するは即納の事但就際協質は対金は即納の事但就際協会は一回毎に五十級配名は一回毎に五十

といふのである。これに對し道、

いふので、京城材本西組合では四 しもなかく一許可がはかどらぬと

隠壽宮の高

スの映情によると計畫今の實施、以来所可認可が實外に提明を四 月以除難由にもるの中、 電報 大丁のものが數百杯に達しこの 大丁のものが數百杯に達しこの 大大丁のものが數百杯に達しこの 大大丁のものが數百杯に達しこの 大大丁のものが數百杯に達しこの 大大丁のものが數百杯に達しこの 大大丁のもので成字に表示が趣 大桥してみるが趣 、本巻以來樹々人術してみるが趣 、一本巻以來樹々人術してみるが趣 、一本巻以來樹々人術してみるが趣 、一本巻以來樹々人術してみるが趣

太平通りの擴張工事進み

京城玄闘街の新装

とすす

部落民ら騒ぐ

組合として建築許可詮議促進の練

して協議を重ねてあたがこの程

の生活上にも関手である

例を行ふことに決定、十三日中島

代の脚鎖石を切磋してゐるのを球) 便役してゐるが十二日午後十時間|る番十四名と田剌雨を安急署に同 田職業所では二百日昨名の職夫を一説、事なきを借首認者その他最な「安逸前話」威南安逸都議合面石「により所能器から警官小敷名が出 鑛石泥棒のいきさつ

> つて月下京城府民館附立の約五百 り一帯は半島のビル街を出現する 光化門通り から太平通

水極を書めたことから同人の親、町十一時から同校群やで創立上層、一種田利衲が親見事務所に於て、「字―男―保言・書「れ、一王日午」

|李干職では内部の建領その他の題||より派遣された衛生局技松に技師||霞けてゐたが原間の 和上現在の上就を競分低くする程。を中心とする一般と選び徹皮病院、自殺の概あるため概略署より一

河世野基成潤 頂井 在國

道局第十一四連難大震は十七日 ボートレース

の五種目で地方支部十五階體が参 和船、オワンボート

神 村 四――〇 第一ラウンド

朗井四

犬をつなげ

持時間各九時間 ◆消費時間

ない。 での意画は敢士の形が薄くなっ での意画は敢士の形が薄くなっ という。 という。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

も攻め還がなければ、山の名物鬼の難り、草が伸びたしにたものである。こ

金 易二

叉自らも

摑め

龍子

55

躍げて 必る新胞を 傍に退けてしま

步角

一世紀

二流争弱血践譜

二、童謡獨唱

づねてわたり島、鰡は栗風上野志

純

優秀を承認せらる 國際的に効力の

(ロンドン中央試験所 ヨエ年七月「生化學職報」ま上、アーンスライニ氏療表 ールン

り。 は他の比較製品より强力なる事を諮 瀬の効力比較試驗」の結果、エナルルモン委員パークス博士による「男

36-389(O)

曹

無中で飲む酒あどで痛む

有名語にもり、高度本町 株式商品

で治せ

意味亦即 法公會社 木

村

魙

房

(大) 連輯漫画劇 忠子の

午前で時一分 (第) 朝の修養

一、星道如榮 湯澤 天 同八時三〇分(東)洞巌と吟詠 同八時(大) 勞勵民謠

二羽の孔雀(三)

よりは若々しい黒い髭の色が、電

「お前達が何かつて云ふと、直そ して角突あつてゐると、浩介が と辞太に初めて眞顔になった。

何六時三〇分 ラヂオ

歌ふ彌次喜多 午後等時五分一

一帯しい道で站盤に化けた狐に化か一木に差しかいつた二人、日暮れの

護された、三島の宿を過ぎ赤坂鹿| 葉のかげて、

食べたか食べても

古川綠波外

しい以前から既に、幹太の謝を擅

ともあれ、男手一つに長い間背

同九時(東)衛生メモ 南九時(東)衛生メモ 南九時(東)衛生の分 須度遊散・料理献立 同九時(東)衛生が東連戦・料理献立 (東)衛生が東京 (東)衛生が東京 (東)衛生が東京を大きない。

互に咽喉自慢をするが大震闘の甲

型の形が夜はなぜかなし、思ふ心

これだ!

視聴を蒐めた世界酒徒の 酒は! これ

となりお茶を持つて來た娘の美し

同六時三〇分(東)基礎佛午前六時(東)ラデオ晩操

一放送 (木曜日)

十四日番組

レンチに依る事になつるまで時間の都合で解釈者寺田氏の

都創地の犯罪は特に年々夥し

れからの季節においては一番つ熊

大月五 月 日 七 北

陳代謝をたかめエネ に体重増加を來し銛 ルギー、精力を増進

血色素數、赤血球並 に臨床實驗によれば エナルモンは動物を 初老期・高齢期の 青 | 壯年期に於て

生殖器性神經衰竭、性障害、憂鬱症男性的特徴を發揮し得ざる性徴不よ

可修道市股大 店 商 衛 吳 曼 田 武 懿 元 竇 發 可水市京車 店商衛 吳 新西小懿 唐理代東關 斯宮大市崎州 所究研藥器臟社園帝 光檢 元 遺 饗

のお客様には ージンを

の御料理屋さん!

感醉

御里、 止交島 長峰、仙水、乾坪 十四田県 即軍班級取出

過里、貧里都

を消し惱みをには、うれひ

しづめる態な

大和組回漕部等

+

右昭和拾遺年四月武治八日登記

船株式會社

路案内書御送り
野貨客船ニシテ
野貨客船ニシテ

朝鮮理念交近

北鮮西船里

第二八番

原語一八番 開起修支店 國際運搬支店

東**越り** 十六日二六日廿日 西越り 二六日十二日廿日

(出国孫學用) 電路 1 2 1110 音 九州郵船株式會社

院・一道・一個単級間帯を御利用版 高杉西店回漕部

(中国の 1970年) (中国